石桜同窓会報

石桜同窓会
盛岡市長田町
岩手高等学校内
印刷山口北州印刷㈱

平成11年度 石桜同窓会 総会終わる

平成11年度の石桜同窓会総会は、昨年10月22日(金)午後6時からホテルメトロポリタン盛岡で開催された。

総会にはおよそ50名が出席、会務報告に続き、決算、予算案の審議が行われ、役員改選案が上程され、原案通り可決した。引続いて懇親会が別室で行われた。

総会では開会宣言の後、鱒沢昇（旧13回生）副会長が挨拶に立ち、赤坂俊夫同窓会長の死を悼む言葉に続いて、突然の逝去後、会長代行の任についたこと、会長に代って東京石桜会に出席したことなどが話された。

岩手奨学会の池口杜孝前校長は来賓祝辞に代えて、寄宿舎の工事進行状況に触れ、その建設により学力、運動ともに優れた生徒の入学の可能性と、伸び伸びとした学園生活への期待を語った。

議長には田鎖康誠氏（新6回生）が選ばれ、事務局より会務報告、平成10年度決算報告、玉山哲史（新11回生）監事の監査報告があった。

続いてクラブ強化育成基金については別掲のような決算報告があり、平成11年度事業計画案が審議された。

さらに平成11年度一般会計及び特別会計の予算案の審議に入り可決された。

最後に同窓会長、副会長候補者案が提案され、出席者全員の賛同を得て選任した。

同窓会会長・副会長候補者

会長について
下河原　善嗣郎　新5
（建設会社下河原組会長）

副会長について
村上　照五郎　新2
（母校教員OB、県ソフトテニス連盟会長）
小枝　指博　新9
（盛岡市議会議員）
村井　紀之　新18
（村井松月堂専務）

議長席の田鎖康誠氏（新6回生）

50名余が審議

同窓会長に就任して

石桜同窓会会長　下河原　善嗣郎

平成11年10月22日ホテルメトロポリタン盛岡において開催されました石桜同窓会で、はからずも皆様のご指名を頂きまして、名誉ある、岩手中・高等学校の同窓会会長を仰せつかりました新5回生の下河原善嗣郎でございます。現在盛岡市乙部に住んでおりまして会社役員をいたしております。本校在学中は応援団をやり、柔道部・卓球部に籍を置いていました。もとより浅学非才、特にも教育行政関係について不案内のうえ、同窓会の運営などにつきましては今回まで皆様のご協力を得ながら後援する立場でありましたのでこのような大役に大変戸惑いを感じております。

皆様ご承知のように私ども卒業生は偉大なる指導者であり、そして燈台のような大先輩、赤坂俊夫先生を昨年3月15日突然失ってしまいました。今だ夢からさめず残念でなりません。私の最も尊敬しておりました赤坂会長さんは、本業はもちろんのこと、社会的にも、そして同窓会の活動にも数々のすぐれた業績を残しになりました。このような直後であるだけに、後任者として重責を感じているところであります。

運営の能力など全くの非力でございます。今日盛んに議論されておりますゆとりある教育、中・高等学校の一貫した教育の中で統廃合が具体化されて来ています。

このような時節に輝かしい伝統を持つ母校をどのような形で支援出来るのか、卒業生の先輩、後輩の皆様にご指導とご協力を頂きながら切り抜けてまいりたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

同窓会の皆様の相互の理解と親睦をもって、岩手中・高等学校の建学の指針であります、石桜精神、人材育成の一役を担いたいと思っている次第であります。

最後になりましたが、卒業生の皆様ともども母校の限りない躍進と岩手中・高等学校石桜同窓会の一層の発展を願って、ご挨拶とさせていただきます。

◇　◇

平成10年度　クラブ強化育成基金　決算書

収入の部

項目	決算額(円)	備考
繰越金	808,296	
郵便振替より	18,683,960	
利息	4,601	
合計	19,496,857	

支出の部

褒賞金	250,000	テニス・ソフトテニス・将棋部
教育後援会	800,000	教育後援会補助
合計	1,050,000	

19,496,857－1,050,000＝18,446,857

池口杜孝前校長

下河原善嗣郎新会長

鱒沢昇前副会長

平成10年度　会務報告

(1) 平成10年10月30日(金)
同窓会総会（ホテルメトロポリタン盛岡）
(2) 平成10年12月7日(月)
第1回クラブ活動振興委員会（きのえね支店）
(3) 平成11年3月15日
午前4時50分　赤坂会長逝去
平成11年3月17日
火葬
平成11年3月20日(土)
故赤坂俊夫会長葬儀（グランドホテル）
(4) 平成11年9月10日(金)
常任理事会（きのえね支店）
(5) 平成11年9月28日(火)
同窓会会計監査会(きのえね支店)
(6) 平成11年10月1日(金)
同窓会理事会　総会議案審議（きのえね支店）
(7) 平成11年10月22日(金)
同窓会総会（ホテルメトロポリタン盛岡）

平成11年度　事業計画

1．指針
母校の繁栄に大いに寄与できる基盤を整える。

2．事業計画
(1) 母校クラブ活動を積極的に支援する。
（クラブ強化育成基金の適切な活用）
(2) 会員相互の親睦交流を図る。
（支部、地区会、クラス会等の節目を重視した集会を盛んにする）
(3) 本部と支部・地区会等の連携を図る。
（相互に情報を提供する）
(4) 同窓会名簿を発行する。
（平成12年2月印刷完了）

平成11年度予算案

I　一般会計

科目	本年度予算額	平成10年度予算額
収入の部		
会費	1,110,000	1,130,000
入会金	666,000	678,000
総会会券代	500,000	500,000
利子	1,000	1,000
雑収入	200,000	200,000
繰越金	662,511	316,990
合計	3,139,511	2,825,990
支出の部		
会議費	700,000	700,000
石桜会補助金	250,000	250,000
印刷費	600,000	600,000
慶弔費	50,000	50,000
通信費	600,000	600,000
事務費	10,000	10,000
事務手当	60,000	60,000
雑費	500,000	300,000
特別会計編入	200,000	100,000
予備費	169,511	155,990
合計	3,139,511	2,825,990

II　特別会計

科目	本年度予算額	平成10年度予算額
収入の部		
一般会計より編入	200,000	100,000
利子	5,000	5,000
返戻金	0	0
繰越金	2,257,967	2,155,637
合計	2,462,967	2,260,637
支出の部		
一般会計へ	0	0
合計	0	0

平成10年度決算報告書

I　一般会計

科目	決算額	平成10年度予算額
収入の部		
会費	1,130,000	1,130,000
入会金	678,000	678,000
総会会券代	275,000	500,000
利子	785	1,000
雑収入	190,440	200,000
繰越金	316,990	316,990
借入金	675,008	0
合計	3,266,223	2,825,990
支出の部		
会議費	613,712	700,000
石桜会補助金	250,000	250,000
印刷費	189,000	600,000
慶弔費	73,956	50,000
通信費	5,600	600,000
事務費	9,972	10,000
事務手当	60,000	60,000
雑費	626,464	300,000
特別会計編入	100,000	100,000
返戻金	675,008	0
予備費	0	155,990
合計	2,603,712	2,825,990

II　特別会計

科目	決算額	平成10年度予算額
収入の部		
一般会計より編入	100,000	100,000
利子	2,330	5,000
返戻金	675,008	0
繰越金	2,155,637	2,155,637
合計	2,932,975	2,260,637
支出の部		
一般会計へ	675,008	0
合計	675,008	0

盛岡石油株式会社
本社／盛岡市材木町4-31　豊岡ビル3F☎019-622-6181
サービスステーション　新太田橋　太田　中央通　南大橋R396

銘菓の店
山善
お贈物に　お土産に　お茶うけに
盛岡市材木町2－21
TEL (622) 2 6 1 8

ヤマハピアノ・エレクトーン・ステレオ
伊藤楽器店
盛岡市中央通り1丁目11の12
TEL (624) 3 8 5 4

なごやかに懇親会開催

久しぶりの交歓

前会長の遺影に黙禱

総会終了後、別室の懇親会場に飾られた赤坂前同窓会長の遺影に対し、懇親会の冒頭、全員による黙禱が捧げられた。

下河原善嗣郎新同窓会長は挨拶に立って、母校愛ひと筋に燃えた赤坂会長の後をうけての重責を痛感、力をつくして期待に沿いたいと語った。

菊地治雄校長（新10回生）はクラブ活動の戦績について触れ、同窓生の支援への感謝と一層の励ましを乞うと結んだ。

乾杯は栃内松四郎元同窓会副会長（旧10回生）が音頭をとり、約一〇〇名の参会者が杯を上げた。

登壇の挨拶続く

しばらくの懇談のあと、新副会長がそれぞれ登壇して抱負を述べ、さらに盛岡市会議員の佐々木勲議員（新16回生）、中村一議員（新19回生）と高橋重幸議員（新23回生）が平成11年の地方選挙での当選挨拶を兼ねて現況を報告した。

また、学校側から出席した若手教職員10名が壇上に上り、そのうち2名を除いて8名が同窓生であることもつけ加えて菊地校長から一人ひとりを紹介した。

最後は元応援団の中村一氏の指揮で校歌を斉唱して散会となった。

菊地治雄校長

村上照五郎新副会長

小枝指博新副会長

村井紀之新副会長

盛岡市議会議員
中村一氏　佐々木勲氏

武田真和先生（新21回生）
川村康二（新24回生）先生と難波紗矢香先生

新副会長となって

「私にとっての石桜同窓生」

村上照五郎

10月22日の総会の席で副会長に推挙されました。暫し私では重荷ではないかと考えましたが、岩手中学校・高等学校の生徒として6年間、また、大学を終えて母校に42年間もお世話いただいたことを思いますと、若し私で役に立つことがあれば、お引き受けすることにいたしました。このたびの新会長、副会長は昭和24年以降卒業の新制高校卒のメンバーになりました。その中においては私は他の方々より少しは旧制中学卒の先輩の方々を含め卒業生の方々に詳しいかなと思い、その方面で何か貢献出来れば良いと考えました。

私にとっての石桜同窓生というのは、職場、クラブ等は言うに及ばず、全然考えてもいないところで、お互いに同窓生だと解かった瞬間から先輩・後輩の話、教えられた先生方の話、など、次々と進み10年来の知己のごとく、直ぐ打ち解ける間になります。それをきっかけに、よくお互いに面倒を見たりお世話をしたりする仲になり、そこにほのぼのとした連帯感が湧いて来る気質の方々だと考えられます。

このような素晴らしいものを後輩の皆さんに次々に伝えて行き、どこの高校卒ですかと聞かれたとき、胸を張って、「岩手高等学校です」という気位をいつまでも持続するように会員の皆さんと一緒に頑張りたいと思います。

菊地治雄校長が若手教職員を紹介

誰よりも母校愛に燃えた同窓会長

前副会長
鱒沢　昇

昨年春（3月15日）、赤坂会長が永久の旅路に立たれたことは、まことに淋しい限りであります。

平成6年10月の石桜同窓会総会で、3代目の会長に就任以来、「母校の発展に寄与せん」、「母校の灯を消すな」、「何糞精神で頑張らねば」、「生き残りに賭ける」（会報20号～23号）の言葉を吐き、常に果敢なほど熱く母校発展を思いつづけた人でありました。

一昨年の夏、岩手医大病院入院の報を得て、秋の半ば頃面会謝絶の札をかいくぐってお見舞いしたら、10月の総会に出るつもりだと元気のいい声で話しておりましたが、食道ガンの大手術の後ではその実現は難しいことでありました。

会長は、めんこいテレビ、岩手医大同窓会をはじめとする十指に余る団体の要職を兼ねているだけに、時勢を見る眼をしっかり持っている人でした。

いまや少子化の時代に突入して、公立学校は再編計画が策定され、私学もまた大きな危機感のもと「生き残り」に知恵を競う様相を呈するに至っては、じっとしてはおられない心境になったようであります。

常々、本県私学の初の男子校としての七〇年の歴史を持つ母校の将来が案じられてならなかったようであります。

いまこそ、母校創始者三田義正翁の津田仙の学農社流の特別方式を採り入れられないものか、良き指導者を得て往時のようにスポーツの強い学校にできないものかと同窓の集いがあるごとに話しておりました。

平成6年10月の会長就任は、母校創立七〇周年記念事業の出発点でありました。平成7年早々からの事業計画、募金体制作り等への取り組みは、まことに多忙の中に進められたのであります。会長は、時あたかも岩手医大同窓会の進める循環器センターの建設と募金という大事業を抱えているところでありまして、とても、常人では務まらないほどだと思いました。

ましてやバブル経済が崩壊し始めていたところですから、会議の数も増すようでありました。ちなみに石桜同窓会の事業のための大小の会議は22回に及びましたから、医大その他を合わせると推測しかねるほどであります。

会長は、決して弱音を吐くことも逃げ出すこともありませんでした。課題に向かっていく姿勢は敬服することばかりでありました。全国に散在する同窓への事業趣意書文を毛筆を執って一夜にして成すというほどでした。それだけに、お願い文ではなく檄文のようなものでありました。それほど激しく母校への発展を訴えているものでありました。

いまにして想えば、会長は母校七〇周年のために精魂を傾け、同窓に「俺は岩高の卒業生だ。胸を張れ」と檄を飛ばし、自ら行動し、人々を動かし事業終了とともに風のように去って逝った感じがいたします。

前石桜同窓会長
赤坂俊夫氏を悼む

赤坂俊夫氏略歴

S14年	岩手中学校卒業
17年	岩手医学専門学校卒業
31年	岩手医科大学助教授
36年	赤坂医院院長
39年	盛岡市医師会理事
58年	県私立病院協会長
H2年	めんこいテレビ代表取締役社長
11年	3月15日逝去

赤坂俊夫前会長を偲んで

旧9回生（同級生）
照井安彦

元気で各方面で活躍しておられた岩手高校同窓会の会長赤坂俊夫君が全く突然亡くなられ、驚きとともに聞き違いではと改めて確認したくらいでした。

長らく同窓会長をおつとめになられた1回生の松見得明先生が引退されたので、理事会の総意で9回生の赤坂俊夫君が選出され、3代目会長を受けられました。しかも母校70周年の祝賀式の挨拶をした時、私も同級生として、また母校の歯科の校医として列席し、彼は専門の医師としての立場も含めて元気ある声で、学業にまたスポーツに精進するようにと話した。凛とした挨拶は今も思い出される。

思えば彼とは昭和14年卒業の同じ9回生で、彼は医師、私は歯科医師と進む道は違ったものの、ともに無事終戦を迎えました。それぞれ郷里盛岡で開業し、時折交互に彼は私の身体を、また私は彼の歯を治療したりしました。

年相応にそれぞれ社会に奉仕する道を進んだが、彼はラヂオドクターとして名をなし、その外色々の面に活躍されているのも多くの方々の知るところである。また家庭にあってはご子息方を一流の医師として世に出され、その上、岩手医大で同窓会長を引き受けられ、活躍なされているも知る人ぞ知る話である。

最近は酒はあまり飲めなくなったといっておられたが、入院の知らせで病室に見舞ったところ、予想したより重症と思われ、奥様にご大切にと申上げたが、我が儘でいう事を聞かないですよと苦笑いをなさっておられた。桜の咲く頃には元気で退院と思われたのに甚だ残念でした。

今年の私どもの第9回同級会では各地から集った諸君から彼の話題がほとんどでした。彼の後任は小生が引き継ぎましたが、皆年老いて80歳に近く、または越える者もあり、もうひと頑張りだなと話して解散したのもついこの間のことです。赤坂俊夫会長を偲んでの文のご依頼を受けて、改めて想うところを記しました。

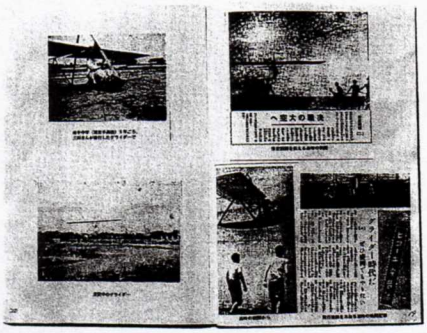
メンズファッション＆スクールウェア
㈱ 佐藤被服
本社　盛岡市肴町　TEL (代)(624)3797
営業所　紫波郡矢巾町流通センター
TEL (代)(637)2661

肉のデパート
丸岩
盛岡市上田一丁目7の11　TEL(624)6565

大小御宴会・御商談等に御利用下さい。
御食事処
きのえね支店
盛岡市本町通1丁目17-6
電話 622-9346

石桜五〇年史、七〇年史に載らなかった話

「下村、第一号機操縦、課目、地上滑走」
「準備、良し」
搭乗者の私は、心の準備ができて叫んだ。
翼端保持者「良し」
尾部保持者「良し」
教官の号令で、十二人が二手に分かれてゴム索を引く。ゴム弓のパチンコと同じ原理だ。教官の凛（りん）としだ号令で、尾部の保持者がグライダーを押えていた索を解き放つ。途端に、背中を急に棒でたたかれたような急激なショックを受ける。ズズズンと尻に響かせてグライダーが地上を滑った。
動いたな！と思ったら、すぐ止まった。一瞬の間のことだった。何秒間、乗っただろうか。何メートル滑っただろうか。
非常に爽快な感じがした。「面白いな！」と思った。心の根っこから嬉しいと思う感情が湧き出してきた。このときからグライダーのとりこになってしまったようである。



当時の新聞切抜きも豊富に収録

恩師下村幸男先生（旧13回生）**からの手紙**
川村　康二
（岩手高教諭第24回生）

筆者の恩師である下村幸男先生の在学中、滑空部（グライダー）が存在し、大いに青春を謳歌されたが「記念誌にそのことが紹介されなかったのが残念」とのこと。先生からの手紙を載せて、ぜひその紹介をしたい。

◆　◆

拝啓　大変久しく失礼しています。岩手高等学校の現在の写真を贈られて、余りにも立派な校舎に驚いています。バスで通りながら校舎を遠くから見ることがあっても、良くは分かりませんでした。立派な素晴らしい校舎設備の充実した写真、本当に有難うございました。

古い昔のある日の事です。職員室をノックして中に入ってから、「私は達磨先生に用があって参りました。」と大声で云いました。先生達は一斉に大声で笑いました。言い方が悪いのかと思い、更に大声で云いました。更に大きい笑い声が跳ね返る様に来ました。その時白髪の優しいお爺さん先生が「授業料か、こっちに来なさい。」と呼んでくれました。授業料を払い終わっても、先生は只ニコニコしているだけでした。その先生とは何度か一緒に帰る事も有りました。お話をしながら歩きましたが、どこで別れたのかは記憶にありません。「達磨さん」と云う名前だと思っていましたが、工藤と云う事務の先生であることは大分経ってから知りました。この仇名は本人も結構気に入っていたらしい様でした。

入学は現岩手女学校地。従って冬の体育の授業は岩手公園でラグビーをよくしました。戸嶋先生から教わった様にして先生にタックルを掛けて転ばすのも愉快でした。

古い校舎から新しい校舎に移転する時も楽しいものでした。由緒有る立派な奉安殿を橇に乗せて、全校生徒に引いて行きました。慎重に引いて行くのですが、橇が横滑りして民家にあたりそうになりました。あるいは少々当たったのかもしれません。私たちは力を合わせて指揮者の指揮に従って引きました。力を合わせてやっても大変な作業でした。

――中略――

創立七十年記念誌を鱒沢君等が中心となって編集された物を手にしながら、岩手中学校の懐かしい校舎と生活を思い出しました。素晴らしい記念誌だとも思いましたが、不満もありました。各運動部の活躍の歴史のような物もあげられていた様ですが、私の在学当時は戦争中であったためなのか、そんな中での滑空部の存在も活躍した事についても何かの理由で割愛したのかも知れませんが、残念でもあります。

私は昭和五十六年二月鵜飼小学校に在職していた時、高血圧性脳出血で倒れました。定年まで三年残して退職し、繋温泉病院に入院してリハビリテーションに必死で励みました。二年半のリハビリと物療のお陰で腕に力が甦り、不自由なく過ごす事が出来る様になりましたが、家に帰って来る時、先生から「リハビリに何か書いて見てご覧なさい」と云われ、書いてみましたが文字も筆順も忘れ文になりませんでした。

小学校時代のクラス会がありました。病気で年賀状を欠礼している事を話しました。クラス会が終って次の日、東京から電話で、「ワープロを贈るからリハビリにやってみろ」といきなり送ってよこしました。見た事はあっても触った事は無いと云ったのですが折角贈ってくれたので、朔に言葉を並べて変換する事だけを教えられて打って見ました。

何を打ったら良いか分かりません。私の頭に強烈な記憶として残っていた事と云えばやはりグライダーの思い出です。その思い出を拙い文にしたのが「グライダーの青春譜」です。

盛岡タイムス社の方が別な用で拙宅にお見えになった時にご覧になり、「戦時中の記録なのだから新聞に掲載させて下さい。」と云われました。私の文はとても人に読んで頂ける様な文章ではありませんので、お断りしたのですが、結局、週二回五十回連載させて頂きました。私の教官と昔の仲間は大変喜んでくれましたし、読んで下さった方から資料を送って下さる方もありました。

この記録を印刷して小冊子にしたらと勧めてくれる方もいましたが、業者に頼む程の物でない、拙い文なので自分で製本し纏めて見ました。部数も少ないので、昔の仲間とお世話頂いた数人だけに贈りました。

製本し贈った後から、大変な事を忘れていた事に気づきました。私達が滑空訓練をしたのは放課後、校庭に集まり、揃って観武ケ原を目指して駆け足で行くのが常でした。大日本飛行協会の格納庫から「鳩型」という初級機を出して練習していました。

「文部省型滑空機」を昭和十六年頃だったと思います。三田義一理事長より突然学校に贈られて来ました。私達部員は驚きと共に喜びました。

贈られた当時の滑空機一機と諸道具合わせての金額は、機体六百円、ゴム索百六十円の大金であった事を知っている人は少ないと思います。

鶯宿滑空場で滑空訓練の査閲があった。査閲官は弘前師団の間山滑空中尉で、査閲の結果は最優秀校として、お誉めの言葉を戴いて帰校した。

校庭が狭く、隣接する田圃を利用しても、一メートルと高度を取る事が難しかった中での訓練だった事を思い出します。

――後略――

◆　◆

「グライダーの青春譜」は思いもかけず私のような者にまで一冊頂戴したので同窓会事務局に保管しています。ご覧になりたい方は学校の方へお問い合わせ下さい。

上掲の文は筆者下村幸男氏の80頁余の「グライダーの青春賦」の1頁目からの抜粋である。

＊　＊

確かに戦争中の旧制岩手中学には「滑空部」なるものが存在した。岩手医専・盛岡工業と並んで岩手中学には初級滑空機、中級滑空機があった。別名プライマリー、セカンダリー、ソアラーという、クラス別のグライダーの少くとも2種があった。恐らくそのため夢多い少年のうち、このグライダーに乗れることに憧れて入学した者もいたかも知れない。

石桜50年史、70年史にもその形骸が載っていないところを見ると、いわば幻の「滑空部」のまま忘れられようとしていた。

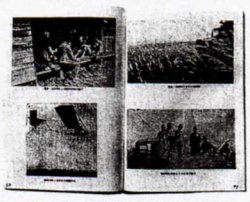
その意味で岩手高校の川村康二先生（新24回生）のもとに寄せられた下村幸男氏の「グライダーの青春賦」は貴重である。

そこには、

・鶯宿滑空場勤労奉仕
・三級滑空士講習会参加
・我らのグライダー修理
・中級滑空機操縦士指導者講習会参加
・六原滑空場　等々

初めてグライダーに乗った時の田村二三、畑山光昭、佐々木幸三、太田代実、鈴木祐八郎、佐藤和郎各位の感想文まで収録されて、秘蔵の書庫に接するようである。当時の写真、新聞切抜まで豊富で記録としても一級のものである。

数々の貴重な写真



4月新入生を迎えるよう――「石桜寮」完成

老朽が伝えられていた加賀野の寄宿舎に代って、母校の隣接地に「石桜寮」が完成しました。

●鉄筋コンクリート3階建　個室24、2人部屋2室　浴室、自習室、洗濯室完備
●盛岡市長田町7-60
●入寮費　5万円（入寮時のみ）
●寮費　月額5、000円（食事、土・日・祝日含み3食）
●室内　ベッド、学習机、椅子、物入れ、暖房完備

平成11年度 同窓会表彰対象

●団体の部

テニス部　県高総体団体優勝・東北高校テニス選手権大会団体優勝・県高校新人テニス大会団体優勝

山岳部　県民体少年男子の部Aチーム団体優勝・県新人戦団体第3位

水泳部　県民体800mフリーリレー第3位・400mメドレーリレー第3位

ソフトテニス部　東北高校インドアソフトテニス大会団体第3位

映画部　県高総文祭放送部門大会テレビ創作ドラマ部門第一位

将棋部　県高校将棋大会団体第三位・県高校文化連盟将棋新人大会団体優勝

●個人の部

県高総体テニス競技男子シングルス優勝
ダブルス優勝　**長澤興祐**
シングルス準優勝
ダブルス準優勝**中澤　理**
シングルス第三位
ダブルス優勝　**中川　順**
〃　準優勝**今　幹裕**
県高総体柔道競技100kg超級第三位**原　靖貴**
県高総体水泳競技100m・200m背泳優勝　**氷見道義**
県高校将棋大会個人戦優勝　**米澤佑太**
東北高校テニス選手権大会シングルス優勝　**中澤　理**
ダブルス優勝　**中澤　理**
シングルス第三位
ダブルス準優勝**長澤興祐**
〃　優勝　**今　幹裕**
〃　準優勝**中川　順**
県民体柔道競技無差別級第三位**原　靖貴**
県民体テニス競技少年男子シングルス優勝
ダブルス準優勝**中澤　理**
シングルス準優勝
ダブルス優勝　**長澤興祐**
〃　優勝　**中川　順**
県民体水泳競技少年男子A200m背泳優勝　**氷見道義**
全国高校将棋竜王戦県選手権大会　優勝　**米澤佑太**
県高校新人ソフトテニス大会　準優勝　**吉田飛鳥**
県高校新人テニス大会男子シングルス優勝　**松舘正幸**
〃　準優勝　**佐藤亮祐**
ダブルス優勝　**中川　順**
〃　〃　**菅原陵臣**
〃　〃　第三位**武藤諭**
県高校文化連盟将棋新人大会A級優勝　**米澤佑太**
〃　第三位**佐々木惇**
〃　準優勝**中川　順**
〃　第三位**川村　綾**

〔お詫びと訂正〕

2月発行の石桜同窓会名簿の広告に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

東京石桜同窓会

名誉会長	三田　義之先生	
顧　問	辻　公一郎	(旧12)
	吉田　大三	(〃)
	薩野　信篤	(旧17後期)
	原　章	(旧18)
会　長	遠藤　政二	(新6)
副会長	浦田　隆	(〃)
〃	近津　義一	(新8)

スタジオ撮影・各種スピード写真・各種カメラ
カラー・D.P.E・記念出張撮影
フォトMORIOKA
池ノ谷　忠　正
材木町信用金庫向　TEL(622)7457

割烹
「こう弥」
盛岡市菜園2の8の36
TEL (623) 2622

あなたの記録更新に役立つスポーツ品
藤沢体育堂
盛岡市大通3丁目2－5
☎(019)623-1435

同窓生の慶事つづく

元同窓会副会長 栃内松四郎氏（旧10回生） 盛岡市勢功労者に

盛岡市の平成11年度市勢功労者に元石桜同窓会副会長栃内松四郎氏が決まり、昨年11月3日に盛岡市で表彰式が行われた。

栃内氏は盛岡さんさ踊り実行委員会副委員長、盛岡商工会議所常議員として広く商工業界の指導に努め、参加型夏まつりとしての「盛岡さんさ踊り」の創設に尽力したことによる。

栃内氏の受彰を祝う会は1月11日盛岡グランドホテルで夜6時から開催され、400名の参会者で盛会だった。

栃内松四郎氏と村上照五郎氏（新2回生）が社会・体育部門の岩手県教育表彰を受ける

栃内松四郎氏は永年岩手県水泳連盟会長としての功績により、また母校教諭だった村上照五郎氏は永年岩手県ソフトテニス連盟の会長として（社会、体育）に寄与したことにより、昨年11月4日岩手県から表彰された。

久慈市長 久慈義昭氏（新15回生） 自治大臣表彰を受ける

若くして久慈市長に当選、着実に市勢の充実発展に堅実な行政手腕を発揮している久慈義昭氏は昨年10月5日、久慈市長在任20年の功績により、自治大臣表彰の栄誉を受けた。

石桜同窓会名簿 2000年版できました

石桜同窓会名簿の前回発行から5年余を経ていますので、例によってアンケートによる住所整備に意を注ぎながら2000年の最新版が今年2月末出来上りました。

同窓生名簿は在学経歴の共有感をもつだけでなく、社会の各方面に活躍されている同窓生相互の連帯協力に大きな役割を果たします。

◇50音索引のほか
◇地域別索引
◇現職員、旧職員名簿
◇同窓生企業広告90社余を集録した情報源です。

頒価　送料含み　4000円

お申込みは下記へ
〒020-0062
盛岡市長田町7-60
岩手高等学校内　石桜同窓会
Tel　019-624-4445

諸先輩の文筆活動活発
――著書相次いで出版――

栃内松四郎氏（旧10回生）「祭り囃子よ高らかに」

実業界では土木建築請負業栃内組勤務を皮切りに盛岡水道工業、あるいは全国喫茶組合に関わり、その一方で若くして政治の世界も歩んだ栃内松四郎氏は平成10年暮れに自伝「祭り囃子よ高らかに」を刊行した。

盛岡八幡宮に近い盛岡の下町生姜町に生まれ、祭り囃子を聞いて育った同氏は盛岡の夏まつり、「さんさ踊り」に20年関わり参加者3万4千人に育てた一人でもある。

岩手中学の水泳部では長距離選手として練習に明けくれ、中央大学から学徒出陣、海軍特攻隊員としての白熱した青春を過ごす。

山本猛夫代議士との出会いから政治に夢とロマンを抱き、県議も歴任、石桜同窓会でも身近な世話役として20に余る肩書をこなした。

全国喫茶業環境衛生同業組合連合会副会長や岩手県水泳連盟会長として友愛、団結、繁栄のため尽力した。

同書は多方面に亘って世話役に徹した栃内氏の活躍を余すところなく伝えている。

栃内氏はそのあとがきで「自分の辿った道は、仕事でも政治でも、奉仕活動でも大変浮気性で雑多な人生でした。しかし本書を著すことで七十有余年を振り返る時間をもつことができた。ここから少しでも町づくりの情熱と政治のロマンを感じとっていただければ嬉しい」と述べている。

ご希望の向きは（四六判286頁　頒価2,000円　送料別途）盛岡市鉈屋町16－20　TEL 019-623-6859　栃内松四郎氏宛

和井内和夫氏（旧17回生）「困った上司、困った部下」

NTT勤務歴45年、現在旧盛岡藩士桑田理事長の和井内和夫氏が昨年8月、著書を出版した。題して「困った上司、困った部下」。

前半では職場の自分の周りの人間の、普段の行動からその根底にあるものを理解すべきである、と。これをつかんで適切に対応するためのヒントが挙げられている。

後半は著者が長いサラリーマン生活の経験から得た人間や組織についての考え方や参考になる特異なケーススタディと、それらを下敷きにした〝人間観〟や〝職場観〟が述べられている。

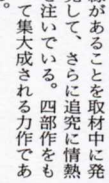
著者によれば、読者が職場の人間関係で嫌な思いをしたり心理的に追いつめられたりしたとき、それをどう打開するか、乗り越えるためのいわば応援歌とのこと。また埋没しがちな会社人間から脱皮するためのアドバイスが満載されている。

和井内氏は平成6年に「サラリーマン実践録」を出版、好評を博して市販を売り切ったが、今回は前著のいわばリメイク版である。

本書は本年1月岩手日報書評欄でとりあげられ、さらに岩手日報〝人〟欄でもクローズアップ写真と共に登場した。これによって元気な和井内氏の風貌に久しく接した同窓生も多い。

同書は盛岡市内及び花巻市内の書店でも殆ど無いのでご希望の向きは左へ申し込まれたい。（盛岡市　TEL 635-6090　和井内和夫氏宛）

佐々木京一氏（新1回生）「一揆の奔涛」――伝承・三閉伊一揆――を5月末刊行予定



「南部三閉伊一揆の民間伝承――一揆の奔流」「南部三閉伊一揆に先行するもの――一揆の激流」「南部・盛岡藩の権力闘争」の三冊をすでに出版した佐々木京一氏は四作目として「一揆の奔涛」の刊行準備に取組んでいる。

元岩泉高校教諭だった同氏は自らのライフワークとして、一揆の歴史をつくった農民たちの指導者の真実に迫ろうと半生をかけている。

筆者自身の祖母キヌに伝えられた伝承を足で検証し、採集した「滝の万吉口伝百話」も収録。岩泉代官所を設立した封建社会における近代化政策の先駆者佐々木彦七や三閉伊一揆の最初の仕掛人、熊谷佐兵衛にも血縁があることを取材中に発見して、さらに追究に情熱を注いでいる。四部作をもって集大成される力作である。

（予約申込み先は〒027-0501　岩手県岩泉町中野42-7　宇霊羅山房　佐々木京一氏宛　TEL 0194-22-4515　四六判約325頁上製本　定価2,500円（税込）送料別途）

支部だより

▼仙台石桜同窓会 第2回総会は弘前大医学部佐々木甚一講師を招いて

平成9年に結成した仙台同窓会は第2回総会の開催に当り、福島と山形両県の同窓生にも呼びかけて盛会を期して開会。特別企画として弘前大学医学部細菌学講座の佐々木甚一（新11回）講師を招いて講演も願った。

平成10年8月22日（土）午後5時30分からJR仙台駅東口前イーストパルタ8Fの「美点花（メイテンファ）」で開催。佐々木甚一氏は「イカ墨はいかす」――食材にみる抗菌・抗がん作用と題しての講演だった。

懇親会は午後6時20分から、仙台市内の岩高OBの学生にも好評だった。

仙台同窓会会長は小林陵二（新3回生）、事務局長は横田英司（新11回生）氏である。

▼東京石桜同窓会 平成10年度総会は帝国ホテルで開催

東京石桜同窓会はさらなる活性化と発展をめざして、そのあるべき姿を模索するため会員にアンケートを求め、分析に努めた。

日本全体が萎縮傾向にある中で、こんなときこそ石桜精神を発揮して、明るく覇気をもって殻を打ち破るべく平成10年度総会は10年9月26日午後7時から都内内幸町の帝国ホテルで開催された。

第一部は国立音楽大学教授の瀬川武氏（新12回生）の「お話」と「楽しい演奏会」で、第二部は総会・懇親会とした。同会会長代行は遠藤政二（新6回生）、実行委員長は森田明典（新20回生）だった。

▼日大石桜会 平成10年度総会並びに親睦ゴルフコンペ開催

日大石桜会（会長田鎖康誠新6回生）は平成10年11月12日（木）午後6時から盛岡市内茸手町の「サザエさん」で総会、懇親会をもった。

また同日朝から盛岡カントリークラブで親睦ゴルフコンペも開催して旧交を温めた。（なお、同会事務局は盛岡市仙北一丁目8－4高橋隆夫（新17）方です。）

▼東京同窓会 新会員歓迎会を実施

東京石桜同窓会恒例の新会員歓迎会は、母校を今春卒業して上京の新OBの東京生活の慣れた頃を見計らって、11年5月29日九段会館で午後6時から開催された。

新会員は10名、上級校在学の学生が5名、一般OBが16名の合計31名が出席して和やかな一夜となった。

新入会員にとっては都内在住の先輩と上京の恩師の変らぬ温情に感激の会となった。今回の新会員歓迎会幹事は菅野幸氏（新13回生）だった。

▼NTT石桜同窓会発足

平成11年1月30日（土）盛岡市中央通りの仁王会館でNTT石桜同窓会の発足会が開催され18名が参集した。

初代会長にはNTTOBで、現在は旧南部藩士桑田の理事長である和井内和夫氏（旧17回生後期）が選ばれ、事務局は中屋敷美喜男氏（新23回生）が担当することになった。

中屋敷氏の連絡先電話は会社TEL 019-625-4551　自宅TEL 019-622-0511

◆　◆

平成11年5月26日（水）同NTT石桜同窓会は盛岡市の仁王会館で17名が出席、同会会員である盛岡市議会議員高橋しげゆき氏の当選、激励会を行った。

▼雫石石桜会 平成10年度の集いを開催

11年2月26日（金）午後6時から雫石町源太堂の雫石地区公民館で10年度の雫石石桜会が開催された。

同会は石桜健児の皆さんへということで、同会会員のほか、岩手高校在学生は無料参加、在学生の父母の皆さんもどうぞと呼びかけ、まことにユニークで親しめる会となり、盛会だった。

▼桜球会平成11年度総会を開催

岩手高校野球部OBの桜球会総会は平成11年2月8日（火）盛岡市八幡宮前の初駒で開催され、岩手高校から菊池軍治教頭、米田耕市先生が参加、32名が会合した。

▼桜球会で3年生部員の慰労会も開催

平成12年2月11日（金）盛岡市八幡町すずめで、3年生野球部員2名と学校から和田健一郎先生が参加、9名が参集して現役3年部員の慰労の会を行った。

平成11年度 大学・短大合格状況

この3月の新卒進学状況が判明しました。（2月末現在）

昨年より若干低調ですが、一層の奮起が望まれます。

学校名	合格者
弘前大	1
鹿屋体育大	1
岩手県立大	1
道都大	2
北海道工大	1
酪農学園大	1
青森大	4
八戸大	1
八戸工大	1
岩手医大	1
富士大	3
石巻専修大	1
東北学院大	12
東北工大	6
東北福祉大	2
東北薬大	1
秋田経済法科大	6
いわき明星大	1
常磐大	2
埼玉工大	2
駿河台大	1

学校名	合格者
日本工大	1
文教大	1
中央学院大	2
東京情報大	1
東洋学園大	1
国士舘大	3
帝京大	1
東海大	1
東京経大	1
東京農大	2
東洋大	1
日本大	3
日本歯大	2
法政大	1
神奈川大	1
神奈川工科大	1
関東学院大	2
洗足学園大	1
金沢工大	1
同志社大	3
大学合計	81

学校名	合格者
専修大北海道短	1
青森短	1
岩手看護短	1
盛岡大短大部	1
短大合計	4

専門学校就職	52

懐石料理とわんこそばの店
初（はつこま）駒
盛岡市八幡町10-21（盛岡八幡宮前）　電話　019-651-7184

御慶弔引菓子
金山からめ餅本舗
創業安政元年　玉桜堂
020-0861　盛岡市仙北1丁目14-2　TEL 636-1143　FAX 636-1142

特定建設業
Z　株式会社　下河原組
代表取締役会長　下河原善嗣郎（新5回生）
代表取締役社長　下河原　大希（新36回生）
〒020-0403　岩手県盛岡市乙部4地割6番地1
TEL　696-2255㈹
FAX　696-2360